

産官学連携による教育分野における資金調達調査研究事業に参画します ～経済産業省「未来の教室」調査事業～

令和5年8月25日

京丹後市教育委員会

京丹後市は、経済産業省「未来の教室」^{※1} 調査事業を受託した株式会社トラストバンクの連携先として、多様な学びを支える環境を維持・発展させるための産学官連携の調査研究事業に参画することが決定しました。

■取組内容等

デジタル技術やふるさと納税等を通じて地域創生に取り組む株式会社トラストバンクは、ふるさと納税型のクラウドファンディングに係るこれまでの豊富な実績やデータの蓄積等を基に、財政面で共通課題を抱える全国の教育現場に新しい資金調達の手段を拓ける機会創出につなげていくための調査研究事業を実施することとしています。

教育分野における予算の充実は本市にとっても重要な課題であり、本年度より「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方検討会」^{※2} を立ち上げ、Society5.0 に対応する教育や人材育成の方策について検討を行っています。

その中で、テクノロジー等を活用した子どもたちの新たな学びと「未来の教室」を支えるための財源確保の在り方についても検討しているところであり、産学官連携により実現していくことが不可欠であることから、本調査研究事業に本市が連携先として参画することを通じて、教育の一層の充実のための財源確保の手法を確立していくことを目指します。

<調査研究における本市の位置づけ>

- ◆ テクノロジー等を活用した新たな学びの在り方や「未来の教室」の姿の提示
- ◆ 目指すべき姿に向けた教育現場等における課題の洗い出し・整理
- ◆ 調査項目等の検討・精査
- ◆ 教育長等へのインタビューへの協力 等

■実施体制等

1 事業受託者

株式会社トラストバンク（全体統括、プログラムの開発・検証）

※ふるさと納税に関するサービス等を提供している企業です。

（本社・東京都渋谷区、代表取締役・川村 憲一）

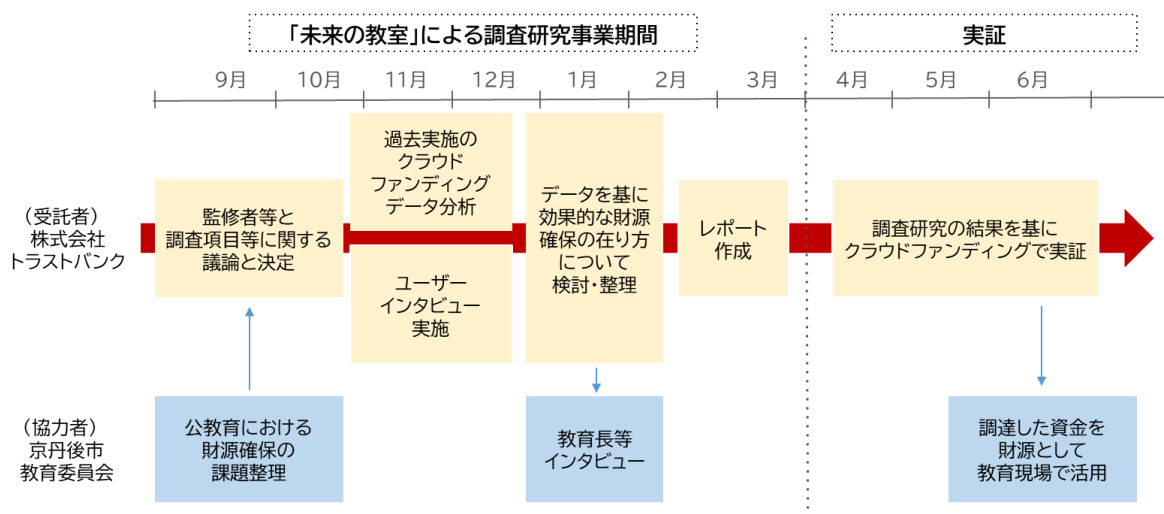
2 連携先

京丹後市教育委員会、大学

3 スケジュール（予定）

令和5年 調査研究の実施

令和6年 調査研究に基づく資金調達の実証



※1 「未来の教室」とは

経済産業省は、「『未来の教室』ビジョン（2019年6月）」を踏まえ、様々な個性の子ども達が、未来を創る当事者（チェンジ・メイカー）になるための学習環境づくりを目指し、1. 学びの探究化・STEAM化、2. 学びの自律化・個別最適化、3. 新しい学習基盤づくりを柱に、2018年度より実証事業に取り組んでいます。

「未来の教室」ってなに？（「未来の教室～learning innovation～」サイト）

<https://www.learning-innovation.go.jp/about/>

※2 「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」について

本市におけるこれまでの様々な取組を基礎としつつ、Society5.0に対応した新たな教育・人材育成の在り方の検討を進めるために設置し、今後中間とりまとめを行う予定です（これまで準備会2回、検討会4回開催）。

■問い合わせ

京丹後市教育委員会事務局学校教育課（電話 0772-69-0620）